

## 大王電機株式会社

- 代表取締役社長 磯谷 巖
- 創立 1948年
- 資本金 2000万円
- 静岡市葵区一番町15
- TEL 054-263-6111

電気工事の仕事です。

主に建物内の電気配線工事

木造家屋、ビル内、工場内、外灯保守点検、太陽光、EV用充電設備、V2Hなど



<https://www.facebook.com/shizuddk/>

## 三和建商株式会社

- 代表取締役社長 妻形克和
- 創立 1957年
- 資本金 62000万円
- 静岡市葵区流通センター12・7
- TEL 054-263-2030

主力事業である「解体工事」「リサイクル工事」は、ビル、工場、住宅、公共施設など、広範にわたりご発注いただいています。また、改修工事も年々増加傾向にあります。



<https://www.sanwakensho.co.jp>

同居しています。

**濱崎** 「解体で未来をビルドする」が当社の理念です。高品質な工事を、低価格で、安全に行う。言っていることは矛盾しているのですが、それを目標にして、その矛盾に挑戦しています。

### 建設産業を支える技能工の職場環境を整えることが重要

**市川** 建設産業は、技能工の方々の現場のマンパワーに託すことがまだまだ多い。建設産業就業者の中でも、技能工の人数は非常に多い。技能工の中では、55歳以上の人数が32%を占め、25歳以下の人数は12%。55歳以上の人たちは、20年後には全員が引退しているでしょう。(表2)

技能工の方々の雇用の問題にしっかりと対応しておかないと、地域の建設産業は足元から崩壊する危機に瀕していると言っても過言ではありません。

**磯谷** 電気工事でも、実際の仕事は1人親方がやっていて、その人たちが高齢化した時の対応は難しい。運送業者も我々と同じ悩みを抱えていて、トラックにデジタコを付けて運行状況进行管理し、ドライブレコーダーを付けて

運転を管理しています。建設産業でも、ITを活用して人の管理ができる方法があるといえます。

**市川** 働き方改革については、一朝一夕に結論が出るわけではなく、建設産業は矛盾への挑戦が永遠に続きます。トレンドをつかまねながら、ポリシーと情熱を持って、時代・地域・企業をひっぱっていく方が必要です。技能工の方々に、生産性を向上させないと、自分の待遇も改善されないことを理解してもらうために、生産性向上の教育も必要でしょう。

土木のインフラ整備は、いま生きている人たちだけでなく、将来を生きる人たちの経済・産業の動脈として必要です。建設産業はこれからも必要不可欠からざるものだと思います。

**鳥居** 40年以上前の建物を使い続けるのは、維持費用がかさみ困難を伴います。だからといって建物を壊すのではなく、リニューアルして機能を更新し、次世代に新しいモノとして残す時代です。我々は過去技術を丁寧に残合して、建物としての総体を創りあげました。これからのIoTの時代ではモノとモノが最初から関連付けられているなかで、バラバラなデータも、新たな総合化を経て建築が作られるのではないのでしょうか。

**濱崎** 働き方改革の流れのなかで、特に若年労働者を確保するには、現状の

年間休日95日では人が来ないので、当社も来年から完全週休2日制に移行します。どなたでもいいから、来てくれというのが、我々の業界です。

**磯谷** 人の問題では、電気設備工事業は恵まれているところがあると思います。新卒で入社しなくても、電気の技能をもった人材は他業種にもいて、地域に帰ってきて、我々の業界に入ってくれる場合もあります。東京の左官屋さんが1日左官体験講習会を開催していて、その体験講習会を経て入社した10人の女性職人の活躍を紹介するテレビ番組が放送されました。イベントなどを通じて、若い人たちに我々の仕事の楽しさを理解してもらうことが必要だと思います。年寄と女性を活用し、体力のある企業はAIを活用した機械化を進めれば、電気工事業に従事してくれる人たちが増えるのではないのでしょうか。

**市川** 本日は、ありがとうございます。戦後、焦土と化した静岡を我々の手で再生したいという思いで、現在の建設産業は誕生しました。70数年経って、時代は情報社会となりましたが、地域にとって建設産業はなくてはならない産業です。一つ一つの企業が矛盾に挑戦しながら、持続可能な成長発展をめざしていきます。我々のふるさと静岡が未来永劫にわたり輝くまちであり続けるために…。